



決算説明資料

2023年12月期 第3四半期

ISB CORPORATION

証券コード：9702

株式会社アイ・エス・ビー

連結損益計算書



既存顧客を中心に引き続きIT投資需要が継続、モビリティ、ビジネスインダストリー、エンタープライズ、プロダクトの4分野すべてにおいて受注は堅調に推移し、前年同期比増収。調達コストの上昇は続くものの、営業活動の積極展開等が奏功し、利益も前年同期比増益。第3四半期累計の業績では、7期連続増収増益と、創業以来の最高業績を更新。

(単位：百万円)

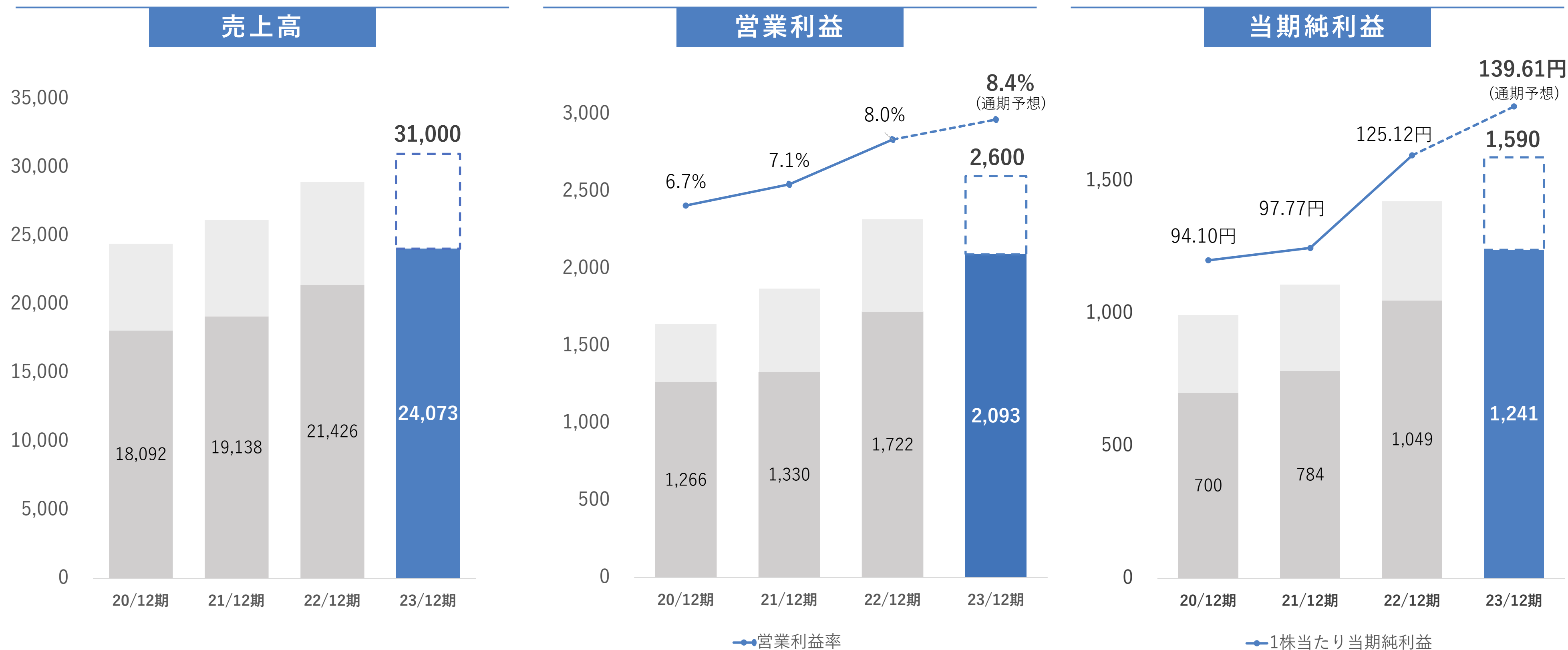
	2022年3Q	2023年3Q	増減	前年同期比	通期予想
売上高	21,426	24,073	2,647	112%	31,000
営業利益	1,722	2,093	371	122%	2,600
営業利益率	8.0%	8.7%	0.7pt	-	8.4%
経常利益	1,762	2,143	381	122%	2,645
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,049	1,241	192	118%	1,590

連結損益の推移



増収および、人的投資効果が現われ増益、利益率も向上

(単位：百万円)



事業分野別売上高

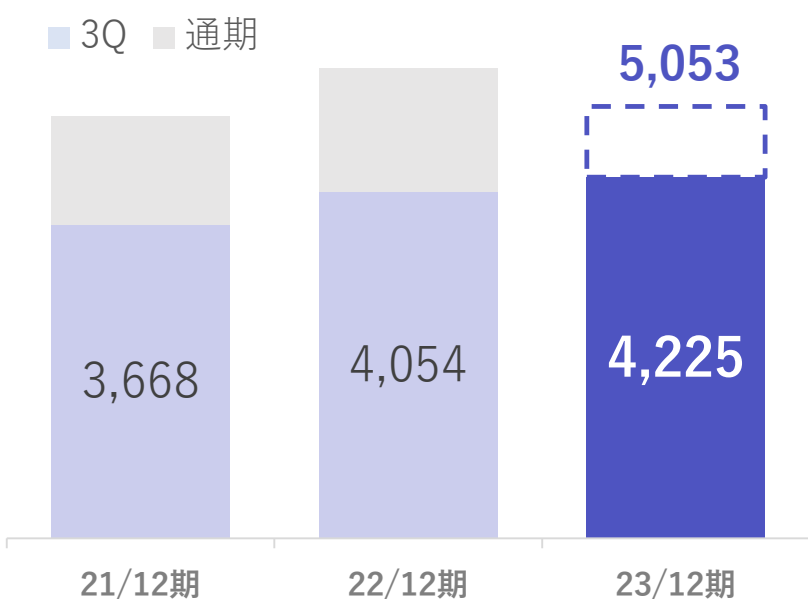


<h2>モビリティ</h2>	<p>車載系は、既存顧客を主体に受注拡大基調。携帯端末・5Gは、縮小計画は小幅縮小に留まる。 今後は、成長期待のモビリティ分野の受託案件を開拓。</p>
<h2>ビジネスインダストリー</h2>	<p>業務システムの引き合いは、インボイス制度への対応を含むリプレイス案件等が旺盛。ただし、一部に受注体制が整わず機会損失発生にて、今後は受注体制を強化。医療系は、既存顧客の受注拡大・新規開拓案件ともに好調、拡大を見込む。</p>
<h2>エンタープライズ</h2>	<p>インフラ系は、既存顧客を中心に順調に受注拡大。 金融系は、既存顧客からの受注が引き続き拡大基調。公共系も、既存案件の受注は底堅く受注漸増。</p>
<h2>プロダクト</h2>	<p>セキュリティ関連事業は、主力製品販売を主体に回復傾向にあり、受注拡大。 リカーリング製品は、順調に推移し拡大を継続。</p>

(単位：百万円)

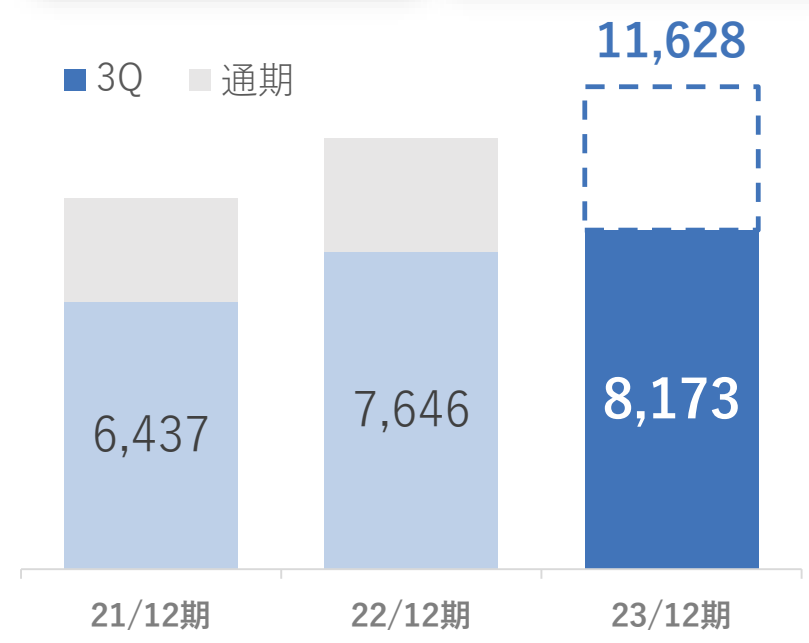
モビリティ

前期比 **104%** 進捗率 **84%**



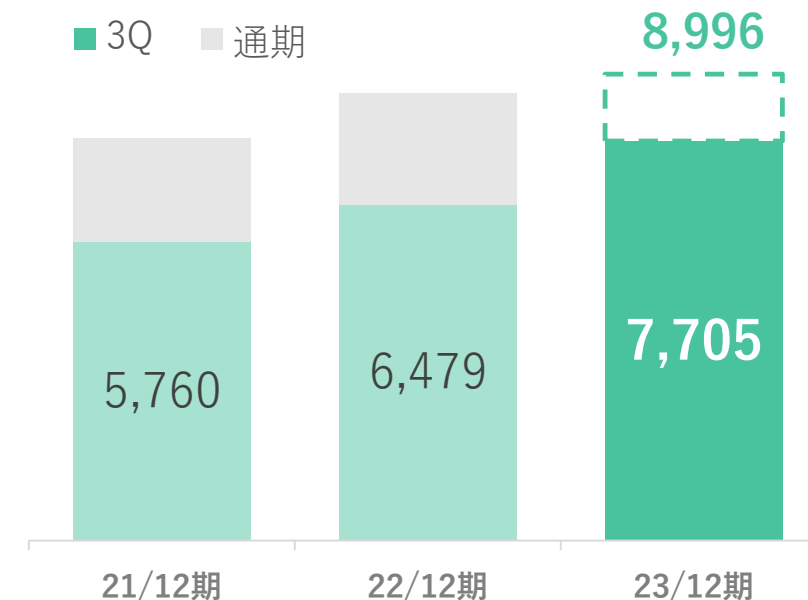
ビジネスインダストリー

前期比 **107%** 進捗率 **70%**



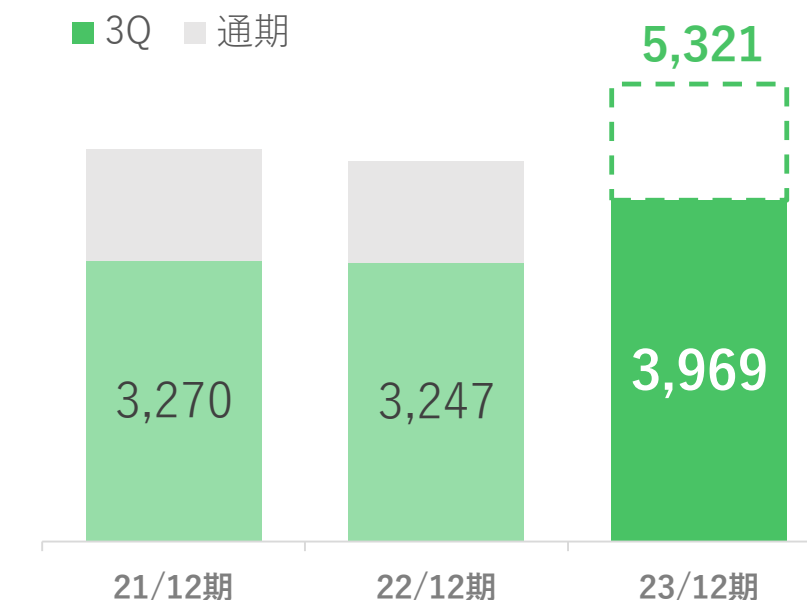
エンタープライズ

前期比 **119%** 進捗率 **86%**



プロダクト

前期比 **122%** 進捗率 **75%**





本資料は、2023年12月期第3四半期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めていただくことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2023年9月末時点の状況において作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。